

南アルプスの生物多様性保全に向けた取り組み

オープンハウス説明会

<皆さまのご意見・ご質問をお寄せください>

南アルプスの生物多様性保全に向けた当社の取り組みについて、ぜひ、皆さまのご意見・ご質問をお寄せください。いただいたご意見、ご質問を、今後の取り組みや地域の皆さまへのご説明に活かしてまいります。

○連絡先

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線静岡工事事務所

メールをご希望の方：以下のウェブページから、ご意見、ご質問をお寄せください。

<https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/efforts/shizuoka/environment/>

ご意見
ご質問は
こちら ▶



お電話をご希望の方：電話番号 054-685-1452

(受付日時：土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く平日の9時～17時)

南アルプスの生物多様性に向けた当社の取り組みについて、当社YouTubeチャンネルで動画を公開しています。あわせて、ご覧ください。

動画は
こちら ▶



※本パンフレットは、2026年5月26日時点の情報をもとに作成しています。

ご意見・ご質問は
こちら



東海旅客鉄道株式会社

当社は南アルプストンネルの工事にあたり、南アルプスの生物多様性について、これまで以下の3つの論点に関し、静岡県、静岡市、専門家等の意見を踏まえ、調査、影響予測、対策の検討を行ってきました。

論点①



沢の水生生物等への影響と対策

論点②



高標高部の植生や湧き水への影響と対策

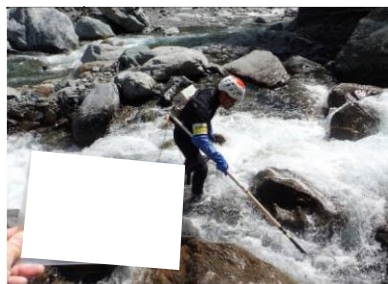
論点③



河川本流の流量減少や水質、水温等への影響と対策

【論点①】

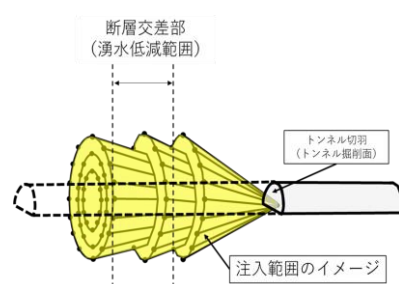
- ▶ 動植物への影響予測や的確なモニタリングを実施するために、これまで33の沢において動植物の調査を実施し、そのうち11の沢では、さらに上流での調査を実施しました。これらの調査結果を踏まえ、モニタリングにあたり着目すべき動植物を決定しました。
- ▶ トンネル掘削に伴う水生生物への影響予測を実施した上で、影響の回避・低減措置として、トンネル湧水の量を減らして沢の流量への影響を低減するために、薬液注入を実施します。



魚類の調査状況（悪沢）



上流域の調査地点の状況（蛇抜沢）



薬液注入のイメージ

【論点②】

- ▶ 標高約2,600m～3,100mの場所において、植生の状況各種調査（掘削調査、電気探査等）や湧き水の化学的な成分分析を行いました。
- ▶ 調査の結果、高標高部の植物は地表面付近の土壌水を利用していることから、トンネル掘削に伴う地下深部の地下水位変化があっても、生育状況には影響が及ばないと考えられます。
- ▶ 高標高部の湧き水についても、深部の地下水とは成分の性質が異なり、また、浸透した降雨が水を通しにくい地表面付近の層を流れて湧き出ていると考えられることから、トンネル掘削に伴う地下深部の地下水位変化があっても、影響が及ぶ可能性は小さいと考えられます。



千枚小屋付近の湧水



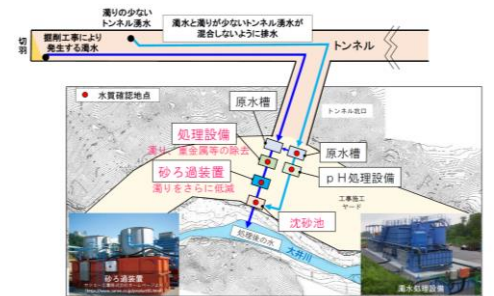
掘削調査



電気探査

【論点③】

- ▶ 河川流量の減少量を推定した結果では、各時期区分において推定される最小流量であっても、田代ダム地点での河川維持流量は確保される結果となっていることから、掘削完了後の恒常時においても現状の流況は維持されと考えられますが、河川流量のモニタリング結果を踏まえ、必要に応じて西俣や千石からのトンネル湧水の放流も検討します。
- ▶ トンネル湧水は、濁り等を低減する処理を行ったうえで、大井川へ戻します。
- ▶ 冬場のトンネル湧水は河川水温より温度が高い可能性があるため、可能な限り放流先河川の水温に近づけられるよう、水温変化の低減対策を実施します。



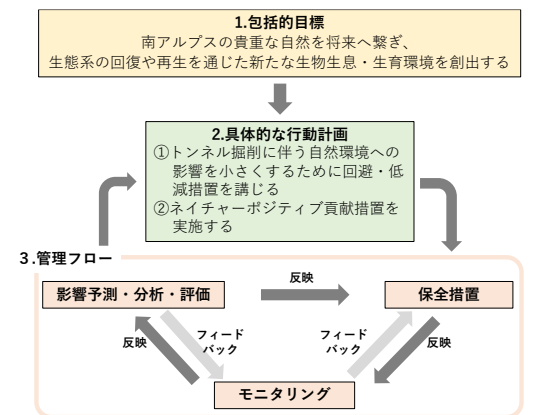
トンネル湧水の処理のイメージ

【モニタリング】

- ▶ トンネル掘削による影響を確認するため、工事前、工事中、工事後にわたり、河川、沢の流量や水質、動植物の生息・生育状況等のモニタリングを継続して実施します。結果は静岡県や静岡市等に報告し、順応的管理に活用します。

【順応的管理】

- ▶ 影響の予測、分析、評価、保全措置、モニタリングを的確に行い、結果をフィードバックしながら必要な見直しを行う順応的管理の考え方のもと、管理フローに基づき、必要に応じて見直しを行いながら、事業全体として包括的目標を達成できるよう、順応的に管理していきます。



順応的管理のイメージ

【ネイチャーポジティブ貢献措置】

- ▶ トンネル掘削工事により損なわれる自然環境に対して、回避・低減措置を講じるとともに、従来の代償措置や生物多様性オフセットの考え方に基づく取組み（自然環境保全・創出措置）を実施するのみならず、南アルプス全域の自然環境に対して、その保全や調査・研究並びに持続的な利活用への支援（調査研究・利活用推進活動）も実施します。
- ▶ 現状において南アルプスの自然環境が抱える課題も踏まえ、これらの取組みを実施することで、南アルプスのネイチャーポジティブに貢献します。



重要種の保全に関する取組み例
（既存工作物の活用や間伐等による生息場の創出）



動植物の生息・生育場の保全・創出例
（防鹿柵の設置・在来種や在来系統による緑化）